

# 中学生の「税についての作文」

租税教育推進活動の一環として納税貯蓄組合総連合会並びに関係協力団体が中学生の「税についての作文」を募集し今回も川崎区・幸区の中学校から多数の作品が寄せられ、川崎南税務署長賞をはじめ川崎区長賞、幸区長賞など各団体賞があり厳正な審査の結果、当川崎南法人会会长賞に川崎市立塚越中学校3年生、梅本真桜さんと川崎市立川崎中学校3年生、奥寺杏樹さんの作文が選ばれましたのでご紹介します。

## 原点

川崎市立川崎中学校 三年 奥寺 杏樹

私は「税」について正直何も知りません。だから私はこの文章を書くのに、申し訳なくさえ感じます。そんな浅はかな知識で学んだことを今から書かせて頂きます。

「税」は私達の生活の中、とても近くに隠れています。例えば百円ショップ。一つの商品を買うために普段いくら払つてますか?——そう、百五円。私はずっと「百五円の五円つて何だろう?」と疑問に思つてました。確か小学生の頃そのことを母に尋ねた記憶があります。

「ねえ、なんで百円ショップなのに百五円なの?」

「その五円は、税金なんだよ。みんなが暮らしやすくするためを使われてるんだ。」

これが、私と税との出会いでした。

中学三年生の夏、初めて税について触れてみました。

まず始めに分かったこと、それは、「税」が今の社会にもし無かつたら、今の私はいないという事です。私の家は、決して裕福な家庭ではありません。父はサラリーマン、母はアルバイトをし、両親共々仕事をしています。私がこうして、小学校を卒業し、もうすぐ中学校まで卒業する。きっと「税」が無かつたらここまで学校に通う事の難しさを痛感することになるでしょう。そして、もし通えたとしても、学ぶ道具…つまり、教科書やノート、えんぴつなどを揃える事ができないでしょう。また、最近設置され

た、冷房も税金で賄われています。勉強をするための場所や道具、さらに環境まで整えていただいています。むしろ世界を見ても、私達は恵まれていると思います。むしろ感謝しきれません。

そして、恵まれていると私が考えた理由は他にもあります。

それは、医療とゴミについてです。具合が悪く病院で見ていた大いに喜んでいました。それに、高齢化社会が進んでいく中、医療にかけるお金が多くなると考えます。その負担が少しでも少なく済むのなら…。暮らしの自由が生まれます。

また、ゴミも同様です。近い将来、まだどうなるか分かりませんが、税金で毎朝ゴミを引き取りに来て下さいます。ありがたい話です。きれいな街、少し理想的ですね。

私達は、一見一人で生きているような気もしますが、実はたくさんの人によしすつ支えてもらいながら生きてきました。もちろん今、この文章を書いている私もその中の一人です。そして、次は、自分が恩返しをする順番。社会に出たら、「税」への感謝のもとで、小さな子供達にいい環境でしっかりと勉強させてあげたい、医療の足しにでもなつてほしい、と思うようになりました。

税は、支え合つて生きてゆく第一歩であり、原点なのが



橋本会長より会長賞贈呈

## 未来の税金

川崎市立塚越中学校 三年 梅本 真桜

税金といえば私は私達に一番身近だと思う「消費税」という言葉を思い出します。百円の物を買うと必ず消費税の五パーセントが含まれ百五円という金額になります。そんな税金を「税金なんて本当に必要なのか、いるのではないか」と感じたことがあるのではないでしようか。

では、そんな税金がなくなってしまうとどのような状態になるのでしょうか。この前、三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震ではたくさんの犠牲者が出来ました。建物の下敷きになってしまった人々などを助けようとしている救助隊の人は税金ではたらいています。また、地震の揺れなどで壊れてしまった道路を直すときも、税金が使われています。もし、「税金」がなくなってしまうと地震や火事、災害のときに救助隊が出動しません。また私の学校では、

一昨年ぐらいから各教室にクーラーが設置されました。それも、税金が使われています。他にも、部活動の大会などで使われる施設も税金が使われています。このように税金がなくては平和でよりよい暮らしをすることはできなくなってしまいます。

しかし、最近ではその税金を「税金の使い方が無駄づかいばかりだ。」というのをよく耳にします。例えば、ある田舎にある橋はあまり交通機関としても使われてないので、工事を行つたそうです。その工事を行つたのも税金が

使われています。「なぜ、あまり交通機関として使われてないのに橋を作つたのだろう。税金の無駄ではないか。」と私は思いました。

日本は今、高齢化社会です。これからは、超高齢化社会となつていきます。そのときに「税金をどのように使つていくのか。」ということが大切になつていくのではないかでしょうか。なので、先ほどみたいな無駄ではないかと感じられるような税金の使い方ではなく、これからのことを考えながら税金を使つていくべきだと私は思います。そのためにも、私達は税金を「国に納めるのではなく、自分に納めていられる」と考えていくと良いと思います。

私は、「税金はただ単に払つているお金ではなくちゃんと意味があるものだ。」というのが私は分かりました。一回、消費税などで税金を払つたとしてもそれは目ではあまり見えないけれど、平和でよりよい暮らしができる。という形で返つてきているのだと思います。

また、税金を納めていても、「何に税がつかわれているのか。」ということをもっと多くの世代の人が知つとくべきだと私は思います。

税金は、他人事ではなく未来を支える私達はしっかりと来を考えていくことが大切なのです。税金の使われ方も見守りながら未来を考えていくことが大切なのです。ないでしようか。そして、これからも「私達は税金に支えられて生きる」ということを知りながら生

